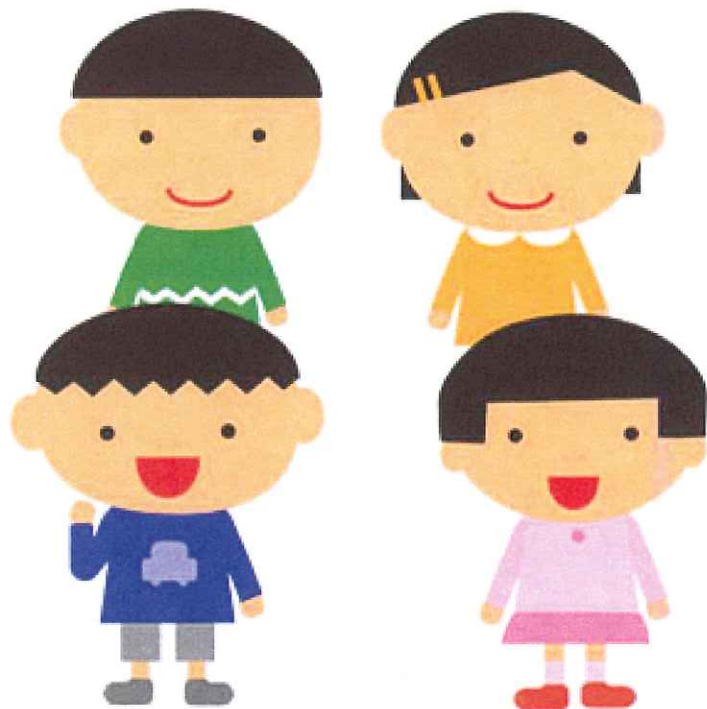


子ども会活動のしおり

Vol(volume)1「入門編」・2「入会編」・3「活動編」

4「推進編」・5「指導編」・6「KYT」



監修

一般社団法人 栃木県子ども会連合会

子ども会活動のしおりの有効活用を願って

昭和61年に初版が発行された「子ども会マニュアル」が7版を重ね皆様に愛読されてきましたが、今回全面改訂することとなりました。

県子連総務、指導、広報各委員会が合同で1年を費やし、新たな視点に立った「子ども会活動のしおり」を作成しました。

今、子どもたちの体験活動の必要性、重要性が再認識されています。バーチャルの世界ではなく、様々な体験活動を通して、お互いを尊重し、認め合い、成長していく子どもたちであって欲しいと私たち育成者は願っています。その中で、いじめはダメと言える子どもたちに成長してくれると信じています。

また、子ども会活動は「話し合いで始まり、話し合いで終わる」とも言われています。これは、話し合いの重要性を指摘したのですが、子どもの世界ばかりではなく、私たち育成者にも言えることです。強く発言した者の意見が通るのではなく、「今、必要なのは何か」を話し合うことが重要なのです。

そして、異年齢集団活動の中で、自立し自律できる子どもたち、その中で生き抜く力を養って欲しいと考えます。

このしおりに新たに「KYT（危険予知トレーニング）活動」が紹介されています。全ての活動において、安心安全が確保されなければなりません。

しかしながら、安全確保のために危険と思われる場所への立ち入りを禁止し、危険と思われる行為を禁止して活動を制限するのではなく、どの様にしたら活動が可能になるかを視点とした、危険予知トレーニングであって欲しいと考えます。

「子ども会活動のしおり」は、栃木県子ども会連合会ホームページにアップロードされています。ダウンロードしていただき、より多くの皆様に活用していただければと考えております。

結びに、体験活動と座学が一体化され、よりよい「子ども会活動のしおり」として、地域社会全体で子どもたちを見守り育てていただく関係者の皆様に、活用していただけることを願っております。

平成28年12月

一般社団法人栃木県子ども会連合会
会長 内藤 進

子ども会活動のしおりの使い方

栃木県子連指導委員長 中西幸子

子ども会活動にある程度の期間接すれば、誰も自分なりの知識や意識を持つことが出来ると思いますが、それを経験や環境が違う多くの人に、同様に解説し伝えるのは至難の業です。多くの育成者が役員として子ども会活動にたずさわる期間が短くなる傾向の中ではなおさらでしょう。

その様な観点からこの「子ども会活動のしおり」では、啓発活動に必要な資料を、それぞれの育成者に応じて活用できるよう、段階的に作成してあります。

講習会などの内容、参加する対象者に合わせ、必要な Vol(volume) を引用し、使用目的に応じた資料としてお使いください。

その為に、

- ・座学講習会資料として使いやすい・・・A4版
 - ・野外活動資料として使いやすい・・・A5版
- の2種類を栃木県子ども会連合会（栃木県子連）のホームページにアップロードしてありますのでダウンロードしてご利用ください。

☆子ども会活動のしおりダウンロードのしかた

- ・栃木県子連と入力し検索
⇒栃木県子連の項目をクリック
⇒ホームページのトップ上段欄から子ども会活動のしおりを選択
⇒「子ども会活動のしおり」をクリックして表示されます。
- ・PDFでのダウンロードが可能です。
- ・栃木県子ども会連合会のURL
<https://www.kodomo-kai.or.jp/tochigi/>からの接続も可能

このしおりで伝えられることは活動の方法についてだけかも知れません。子ども会活動に一番必要な情熱は、育成者の皆さんの心の中に育まれているはずで、行動や言葉で子どもたちにそれを熱く伝えていただけることを切に願います。

しおりを作ったスタッフ紹介

栃木県子ども会連合会総務委員会

会長 内藤 進

副会長 橋本裕文、副会長 柳田和子、

副会長 上野幸弘、副会長 矢後紀夫

指導委員会委員長兼

子ども会マニュアル改訂委員会委員長 中西幸子

指導委員会委員

子ども会活動のしおり作成リーダー 柰子繁通

加藤富男、石岡祐二、兵藤一成、大橋康徳

五十嵐市郎、佐藤和也、山田一則、大橋登美子

広報委員会委員長 原田 忠

広報委員会委員

加藤明代、村上祥子、秋山黎明

しおり作成の参考資料

愛知県子ども会連絡協議会の専門指導者会編集による

「子ども会のしおり」を参考にさせていただきました。